

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等
三鷹市レガシー創造方針

令和 4 年 6 月

三鷹市

目 次

第1章 レガシー創造方針及び位置づけ

- 1 レガシー創造方針策定の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 レガシー創造方針とスポーツ推進計画との関係・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 レガシー創造方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 レガシー創造に向けた取り組み

- 1 スポーツ実施率の向上を通じた健康都市づくりの推進・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 子どもの感動体験、オリンピック・パラリンピック精神に関する学
びの充実・・ 4
- 3 障がい者スポーツの普及、障がい者理解の推進・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 チリ共和国ホストタウン事業の積極的な展開・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 5 新型コロナウイルス感染症対策の検証と対策を踏まえたオンライン
等を活用したスポーツの普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 6 大学生がボランティアとして継続的に活躍できる枠組みの創設など
スポーツ・健康分野における大学との連携強化、スポーツボランテ
ィアの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 7 三鷹ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの応援と連携
の推進・・ 9

※「東京2020オリンピック・パラリンピック等三鷹市レガシー創造方針」は、以下「レガシー創造方針」という。

第1章 レガシー創造方針及び位置づけ

1 レガシー創造方針策定の経過

三鷹市は、2017年4月に市長を本部長とする庁内組織として「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部会議」を、2019年3月に市民及び関係団体等からなる連携組織として「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議（以下「地域連携会議」という。）」を設置した。この両会議を中心としてラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、市民一体となった感動体験の創出と市民等に受け継がれるレガシーの創造のため各種事業を実施してきた。大会の終了に伴い地域連携会議は、2022年2月に「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議大会レガシーに関する提言及び活動報告書」を三鷹市に提出したことを受け、三鷹市として「東京2020オリンピック・パラリンピック等三鷹市レガシー創造方針」を策定する。

2 レガシー創造方針とスポーツ推進計画との関係

レガシー創造方針は、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて三鷹市民に受け継ぐ市のスポーツ推進に関する基本的な考え方や方向性をまとめたもので、主に第5次基本計画、次期スポーツ推進計画に向けた方針として位置づけるものである。

令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度～
スポーツ推進計画2022 (第1次改定)		次期スポーツ推進計画
東京2020オリンピック・ パラリンピック等 三鷹市レガシー創造方針		



3 レガシー創造方針

三鷹市は、地域連携会議の大会レガシーに関する提言を受けて、レガシー創造方針を以下のとおり定める。

(1) スポーツ実施率の向上を通じた健康都市づくりの推進

ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会等という。」）は、市民のスポーツへの関心を高める大きなきっかけとなった。こうした気運を捉え市民の運動習慣が定着するよう、「継続的」「計画的」な運動を支援することにより、スポーツ実施率の向上を図り、市民の健康増進に一層取り組む。

- (2) 子どもの感動体験、オリンピック・パラリンピック精神に関する学びの充実
次代を担う子どもたちが東京 2020 大会等の感動体験を今後につなげられるよう、三鷹ゆかりのオリンピック・パラリンピアンとの体験教室や交流、チリとの交流などを通じて、ボランティアマインド、障がい者理解、平和の希求、人権の尊重、豊かな国際感覚などの資質を伸ばせる環境を整える。
- (3) 障がい者スポーツの普及、障がい者理解の推進
東京 2020 パラリンピックでさらに身近になったパラスポーツ、そして障がい者理解の推進を図るため、地域で競技人口が増加しつつあるボッチャをはじめ、チリの選手団が事前キャンプを行ったパラ卓球、パラアーチェリー、三菱電機ワールドチャレンジカップ事前合宿地となった車いすバスケットボールなど、パラスポーツに触れる機会を創出する。
- (4) チリ共和国ホストタウン事業の積極的な展開
三鷹市は国立天文台とアルマ望遠鏡が繋ぐご縁でチリ共和国のホストタウンに 2020 年 10 月に登録が認められ、2021 年 7 月から 8 月にかけてチリパラリンピック選手団の事前キャンプを受け入れた。東京 2020 大会の閉幕後も、三鷹市は引き続きチリのホストタウンとして在日チリ大使館等とも連携し、チリ文化の紹介、チリとの交流など継続的に取り組みを進めていく。
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策の検証と対策を踏まえたオンライン等を活用したスポーツの普及
三鷹市主催のスポーツ事業等の実施にあたっては、東京 2020 大会でとられた新型コロナウイルス感染症対策を検証しその教訓を生かすよう取り組む。また、オンラインや動画等を活用したスポーツ事業を効果的に推進する。
- (6) 大学生がボランティアとして継続的に活躍できる枠組みの創設などスポーツ・健康分野における大学との連携強化、スポーツボランティアの充実
市民のスポーツを通じた健康増進、障がい者理解、障がい者スポーツの普及、チリをはじめとする国際交流など、市が主催する東京 2020 大会等のレガシー事業、スポーツ健康関連事業等において、学生ボランティアが継続して活躍できる枠組を創設するとともに、スポーツ・健康分野における大学との連携を強化する。
また、大学生を含め広く市民のスポーツボランティアとしての活躍を推進する。
- (7) 三鷹ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの応援と連携の推進
オリンピック・パラリンピックや世界選手権など世界トップレベルで活躍する三鷹ゆかりのトップアスリートを応援するとともに、競技体験等を通じた市民との交流による感動体験の場を創出する。
サッカー J リーグ FC 東京、ジャパンラグビートップリーグ東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、女子ラグビーチーム横河武蔵野アルテミ・スターズを応援するとともに、連携事業を通じたスポーツの推進と三鷹の魅力を発信する。

第2章 レガシー創造に向けた取り組み

1 スポーツ実施率の向上を通じた健康都市づくりの推進

東京 2020 大会等は、市民のスポーツへの関心を高める大きなきっかけとなった。こうした気運を捉え市民の運動習慣が定着するよう、「継続的」「計画的」な運動を支援することにより、スポーツ実施率の向上を図り、市民の健康増進に一層取り組む。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを活用したウオーキング、ランニングの普及
- (2) 三鷹体操・みたかダンスの普及、健康・体力相談事業を通じた健康増進
- (3) 「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」事業との連携によるスポーツの推進とスポーツを通じた健康増進
- (4) スポーツ教室の参加者を自主スポーツクラブやサークルに組織化する「三鷹方式」の発展を視野に、体育協会、地域スポーツクラブ等とのさらなる連携による運動習慣の定着
- (5) 毎年東京 2020 大会のレガシー推進事業を位置付けるとともに、7月から10月を「みたか 2020 大会レガシー事業推進期間（仮称）」として事業を展開

※令和4年度の主な取り組み

- (1) 「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを活用したウオーキング、ランニングイベントの開催（6回程度）
- (2) 動画、体操解説書などを活用した三鷹体操指導者育成制度の構築及び講師派遣による三鷹体操の普及、みたかダンス指導者の育成
- (3) SUBARU総合スポーツセンタースポーツ教室における三鷹体操、みたかダンスの実施
- (4) 「ボランティアポイント・地域通貨（仮称）」事業との連携によるスポーツボランティアの充実及びスポーツ習慣の定着による健康増進事業の実施
- (5) 健康都市づくりに関する事業効果の検証、事業改善
- (6) スポーツを通じた健康づくりに関する元気創造プラザ内組織と連携したスポーツ実践を含む健康増進プログラムの実施
- (7) 健康・体力相談事業の拡充

2 子どもの感動体験、オリンピック・パラリンピック精神に関する学びの充実

次代を担う子どもたちが東京 2020 大会等の感動体験を今後につなげられるよう、三鷹ゆかりのオリンピック・パラリンピアンとの体験教室や交流、チリとの交流などを通じて、ボランティアマインド、障がい者理解、平和の希求、人権の尊重、豊かな国際感覚などの資質を伸ばせる環境を整える。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 三鷹ゆかりのトップアスリートによるスポーツ教室、体験事業の開催
- (2) 三鷹ゆかりのトップアスリートに関する情報発信、応援事業の実施
- (3) トップアスリート支援事業（SUBARU総合スポーツセンターの利用支援）の継続
- (4) 体験教室の開催などによる障がい者スポーツの普及
- (5) ホストタウン交流事業等の実施（学校給食チリ料理の提供、チリ関連行事等での中学生によるチリ国歌斉唱、国際大会で来日するチリ選手との交流等）
- (6) 上記各事業を通じたオリンピック・パラリンピック精神に関する学びの充実
- (7) 自転車ロードレース8市連携事業

※令和4年度の主な取り組み

- (1) 三鷹ゆかりのトップアスリート等によるトライアスロン、バレーボール、車いす体験教室等の開催
- (2) 高橋侑子選手、有安諒平選手、石川優衣選手など三鷹ゆかりのトップアスリートに関する情報発信、応援事業の実施
- (3) ボッチャ、パラ卓球、パラアーチェリー、車いすバスケットボールに関する体験事業などの実施
- (4) 日本×チリ俳句交流プログラム、チリ料理教室、三鷹国際交流フェスティバルでのチリ文化の紹介、チリ独立記念日（9月18日）がある毎年9月にあわせた学校給食でのチリ料理の提供、国立天文台関連講座の開催
- (5) ラテンアメリカへの道フェスティバルへの三鷹市ブース出展、第二中学校合唱部の出演

3 障がい者スポーツの普及、障がい者理解の推進

東京 2020 パラリンピックでさらに身近になったパラスポーツ、そして障がい者理解の推進を図るため、地域で競技人口が増加しつつあるボッチャをはじめ、チリの選手団が事前キャンプを行ったパラ卓球、パラアーチェリー、三菱電機ワールドチャレンジカップ事前合宿地となった車いすバスケットボールなど、パラスポーツに触れる機会を創出する。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 障がい者スポーツ（ボッチャ、パラ卓球、パラアーチェリー、車いすバスケットボール、乗馬体験）の普及
- (2) みたかスポーツフェスティバルにおけるパラスポーツの普及
- (3) 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との連携による障がい者スポーツ事業の推進
- (4) 東京都多摩障害者スポーツセンター、東京都パラスポーツトレーニングセンターとの連携

※令和 4 年度の主な取り組み

- (1) ボッチャみたかカップ、ボッチャ出前教室、スポーツ推進委員による小学校等ボッチャ出前教室の開催
- (2) 東京ボッチャ協会主催東京ボッチャ選手権のSUBARU総合スポーツセンター開催支援、日刊スポーツシニアボッチャ大会開催支援
- (3) パラ卓球教室の定期開催
- (4) 車いすバスケットボール体験イベントの開催
- (5) 東京大学馬術部との連携によるふれあい乗馬体験の開催
- (6) みたかスポーツフェスティバルにおける「NO LIMITS CHALLENGE（東京都事業）」、障がい者サポートツアー、パラアーチェリー体験事業の実施
- (7) 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団による障がい者サッカー教室、障がい者ダンス教室、障がい者ボランティア講座等の開催

4 チリ共和国ホストタウン事業の積極的な展開

三鷹市は国立天文台とアルマ望遠鏡が繋ぐご縁でチリ共和国のホストタウンに2020年10月に登録が認められ、2021年7月から8月にかけてチリパラリンピック選手団の事前キャンプを受け入れた。東京2020大会の閉幕後も、三鷹市は引き続きチリのホストタウンとして在日チリ大使館等とも連携し、チリ文化の紹介、チリとの交流など継続的に取り組みを進めていく。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 三鷹国際交流フェスティバルへのチリブース出展支援
- (2) チリ料理教室の開催等チリ食文化の市民への紹介
- (3) 学校給食におけるチリ料理の提供等市内小・中学校との連携
- (4) アルマ望遠鏡関連講演会など国立天文台関連イベントの開催
- (5) 毎年9月を「みたかチリホストタウン事業推進月間（仮称）」としチリ文化の紹介を推進
- (6) チリ関連行事等での中学生によるチリ国歌斉唱、国際大会で来日するチリ選手等との交流、都立神代植物公園チリ産植物コーナーの紹介等

※令和4年度の主な取り組み

- (1) 日本チリ国交樹立125周年 日本×チリ俳句交流プログラムの実施
- (2) ラテンアメリカへの道フェスティバルへの三鷹市ブース出展、第二中学校合唱部の出演
- (3) 三鷹国際交流フェスティバルでのチリ文化の紹介（チリ大使館関連ブースの出展（予定））
- (4) チリ独立記念日（9月18日）がある9月にあわせたチリ料理教室、学校給食でのチリ料理の提供
- (5) アルマ望遠鏡関連講演会など国立天文台関連イベントの開催

5 新型コロナウイルス感染症対策の検証と対策を踏まえたオンライン等を活用したスポーツの普及

三鷹市主催のスポーツ事業等の実施にあたっては、東京 2020 大会でとられた新型コロナウイルス感染症対策を検証しその教訓を生かすよう取り組む。また、オンラインや動画等を活用したスポーツ事業を効果的に推進する。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) タッタカくん！ウオーク&ランアプリの活用によるウオーキング、ランニングなどの市民の運動習慣の普及定着
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策の教訓を踏まえた、市民スポーツ大会、みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会などのスポーツ事業の推進
- (3) オンラインも活用したスポーツ教室事業（SUBARU総合スポーツセンター）、スポーツ関連講座、健康体力相談事業等の開催

※令和4年度の主な取り組み

- (1) 「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを活用したウオーキング、ランニングイベントの開催（6回程度）
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した、三鷹市民スポーツ大会、みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会などの開催
- (3) オンラインも活用したスポーツ教室事業（SUBARU総合スポーツセンター）、スポーツ関連講座、健康体力相談事業等の開催

6 大学生がボランティアとして継続的に活躍できる枠組みの創設などスポーツ・健康分野における大学との連携強化、スポーツボランティアの充実

市民のスポーツを通じた健康増進、障がい者理解、障がい者スポーツの普及、チリをはじめとする国際交流など、市が主催する東京 2020 大会等のレガシー事業、スポーツ健康関連事業等において、学生ボランティアが継続して活躍できる枠組みを創設するとともに、スポーツ・健康分野における大学との連携を強化する。

また、大学生を含め広く市民のスポーツボランティアとしての活躍を推進する。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 学生ボランティアが継続して活躍できる枠組みの創設
- (2) 大学との連携による健康都市づくりに関する事業効果の検証、事業改善
- (3) ウォーキング、ランニングなど運動習慣の定着に向けた連携
- (4) 障がい者理解、障がい者スポーツ普及に向けた連携
- (5) チリをはじめとする国際交流事業推進に向けた連携
- (6) 三鷹体操、みたかダンス普及に向けた連携
- (7) みたかスポーツサポーターズ活動の充実

※令和 4 年度の主な取り組み

- (1) 大学生の三鷹市スポーツ推進委員への委嘱、みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会、みたかボッチャカップなどにおける学生ボランティアの参加拡充
- (2) 大学との連携による健康都市づくりに関する事業効果の検証、事業改善
- (3) ウォーキング、ランニングなど運動習慣の定着に向けた大学・学生との連携
- (4) 障がい者理解、障がい者スポーツ普及に向けた大学・学生との連携
- (5) チリをはじめとする国際交流事業推進に向けた大学・学生との連携
- (6) 三鷹体操、みたかダンス普及に向けた大学・学生との連携
- (7) 三鷹市民スポーツ大会、みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会、ボッチャみたかカップ、三鷹体操、みたかダンス、ラグビー等普及事業におけるみたかスポーツサポーターズの活躍

7 三鷹ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームの応援と連携の推進

オリンピック・パラリンピックや世界選手権など世界トップレベルで活躍する三鷹ゆかりのトップアスリートを応援するとともに、競技体験等を通じた市民との交流による感動体験の場を創出する。

サッカーJリーグFC東京、ジャパンラグビートップリーグの東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、女子ラグビーチーム横河武蔵野アルテミ・スターズを応援するとともに、連携事業を通じたスポーツの推進と三鷹の魅力を発信する。

《今後の取り組みの方向性》

- (1) 三鷹ゆかりのトップアスリートに関する情報発信、応援事業の実施
- (2) 三鷹ゆかりのトップアスリートによるスポーツ教室、体験事業の開催
- (3) トップアスリート支援事業（SUBARU総合スポーツセンターの利用支援）の継続
- (4) FC東京、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、横河武蔵野アルテミ・スターズ等三鷹ゆかりのプロスポーツチームの応援
- (5) サッカー、ラグビー普及事業の展開、連携事業を通じた三鷹の魅力発信
- (6) タグラグビー教室とタグラグビー交流大会の開催

※令和4年度の主な取り組み

- (1) 高橋侑子選手、有安諒平選手、石川優衣選手など三鷹ゆかりのトップアスリートに関する情報発信、応援事業の実施
- (2) 三鷹ゆかりのトップアスリート等によるトライアスロン、バレーボール、車いす体験教室等の開催
- (3) ボッチャ、パラ卓球、パラアーチェリー、車いすバスケットボールに関する体験事業などの実施
- (4) 市民招待及びスタジアムにおける体験イベント等の支援及び開催
- (5) シーズン開幕、終了時、国際大会開催時における表敬訪問、チーム選手活躍情報の発信応援
- (6) 小学生を対象としたタグラグビー教室、タグラグビー交流大会の開催

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等
三鷹市レガシー創造方針
令和4年6月

発行 三鷹市
住所：三鷹市野崎一丁目1番1号
法人番号：8000020132047
作成 三鷹市スポーツと文化部スポーツ推進課
電話：0422 (29) 9863